

問1 平安時代の仏像や絵画に関する記録において、阿弥陀如来に救いを求める人々の姿や、極楽浄土への往生を願う様子が記されています。このような浄土信仰が当時の社会で広く受け入れられた背景と、その内容を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 滋賀公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 社会不安や末法思想の広まりの中で、阿弥陀如来を信じ念仏を唱えれば極楽浄土へ行けると説いたから。 | 2. 武士の台頭に合わせ、厳しい修行や座禅を通じて精神を鍛えることが重視されるようになったから。 | 3. 法華経の経題を唱えることで、個人の救済だけでなく国家の安泰を実現しようと考えたから。 | 4. 遣唐使によってもたらされた最新の仏教教理を、天皇や貴族が国家を護るために学んだから。 |
|--|--|---|---|

問2 9世紀末に遣唐使が停止されたことなどを背景として、それまで取り入れてきた中国の文化を日本の風土や生活に合わせて消化し、洗練させた平安時代中期の文化を何というか。（2022年 京都公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 国風文化 | 2. 北山文化 | 3. 東山文化 | 4. 天平文化 |
|---------|---------|---------|---------|

問3 平安時代、藤原氏が天皇の補佐として政治の実権を握った「摂関政治」において、天皇が幼少のときにその職務を代行する役職と、天皇が成人した後に政務を助ける役職の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 富山公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| 1. 天皇が幼少のときは摂政、成人のときは関白 | 2. 天皇が幼少のときは関白、成人のときは摂政 | 3. 天皇が幼少のときは執権、成人のときは連署 | 4. 天皇が幼少のときは太政大臣、成人のときは左大臣 |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|

問4 平安時代初期、最澄が比叡山に延暦寺を、空海が高野山に金剛峯寺をそれぞれ開いた背景には、当時の仏教に対するどのような考え方の変化があったと考えられますか。最も適切なものを選びなさい。（2018年 和歌山公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 奈良時代の仏教が政治に深く関わりすぎたため、都市を離れた山の中で厳しい修行を行い、本来の信仰を取り戻そうとした。 | 2. 貴族だけでなく農民にも文字を教えるために、地方の拠点として山寺を建立し、全国に教育を普及させようとした。 | 3. 武士の勢力が強まったため、外敵から寺院を守りやすい険しい山岳地帯に拠点を移し、軍事を強化しようとした。 | 4. 遣唐使が廃止されたことにより、海外の情報を遮断して日本独自の山岳信仰のみを追求する新しい宗派を作ろうとした。 |
|---|---|--|---|

問5 平安時代末期、奥州藤原氏が三代にわたって栄華を極めた拠点であり、極楽浄土の様子を表現したとされる中尊寺金色堂が所在する現在の都道府県名として正しいものを選びなさい。（2022年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 岩手県 | 2. 新潟県 | 3. 三重県 | 4. 島根県 |
|--------|--------|--------|--------|

問6 平安時代において、それまでの大陸との交流方針が変化し、894年に遣唐使の派遣が停止された主な理由として正しい説明を選びなさい。（2016年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 派遣先である唐の国力が衰退し混乱していたことに加え、日本国内で独自の生活や感情に合わせた国風文化が高まっていたため。 | 2. 稲作の技術が日本国内で完全に自給自足できるレベルに達したため、大陸から新しい技術を導入する必要がなくなったため。 | 3. イスラム教の勢力が拡大したことで東アジアへの航路が遮断され、日本から唐へ渡ることが物理的に不可能になったため。 | 4. 平安京の建設に莫大な費用がかかったため、海外への使節派遣を中止して資本主義的な経済改革を優先させたため。 |
|---|---|--|---|

問7 平清盛が行った、自身の政治的・経済的な力を強めるための政策として、最も適切な説明はどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を天皇に即位させることで、天皇の親戚として権力を強めた。 | 2. 全国に守護と地頭を設置することで、地方の武士や土地に対する支配力を強化した。 | 3. 独自の法典である御成敗式目を制定し、武士同士の領地争いを裁く基準を明確にした。 | 4. キリスト教の布教を認める代わりに、南蛮貿易を独占してヨーロッパの最新技術を取り入れた。 |
|--|---|--|--|

問8 平安時代末期、藤原氏が摂政や関白として権力を振るった「摂関政治」を抑える形で、白河天皇が退位後も「上皇」として引き続き政治の実権を握った政治形態を何と呼びますか。（2015年 富山県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|---------|-------|---------|
| 1. 院政 | 2. 執権政治 | 3. 親政 | 4. 武家政治 |
|-------|---------|-------|---------|

問9 日本の歴史における時代区分について、平安京に都が移されてから鎌倉幕府が成立するまでの期間を記録した資料があります。この「平安時代」と呼ばれる期間は、およそ何年間続いたとされていますか。（2017年 岐阜公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 約200年間 | 2. 約300年間 | 3. 約400年間 | 4. 約500年間 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|